

令和2年度決算事務事業評価資料(R3.9審査)

別紙No. 4

一般会計				款	商工費	項	商工費	担当課	商工観光課
対象事業名				観光推進経費(亀岡市観光協会運営費補助経費)				主要施策 報告書	177ページ
目的	事業の目的は何か			市内で行われる各イベントの実施や、新たな観光資源の発掘、観光地の美化活動や道標の補修を含んだ環境整備事業などを、亀岡市観光協会を中心に行うことで本市のにぎわいを創出する。					
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か			<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金支給 <input type="checkbox"/> その他()					
	目的達成のために行った活動とその実績は何か			大河ドラマ「麒麟がくる」放送を受けた明智光秀ゆかりの地としての情報発信等によるにぎわい創出。 府内自治体と連携したJAFFドライブスタンプラリーの開催 湯の花温泉・保津川下りと連携したマイクロツーリズムの展開や緊急雇用等をはじめとする新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ観光振興及び地域経済支援を目的とした各種対策事業 JR亀岡駅観光案内所、トロッコ亀岡駅観光案内所における日本政府観光局認定の「外国人観光案内所カテゴリー2(英語で観光案内できる者が常駐、広域の観光案内ができる)」の設置 紅葉名所のライトアップ、観光レンタサイクル、観光写真コンテストの実施 多言語ホームページの充実、デジタルサイネージの運営 など					
成果	目的に対する成果は何か			令和2年観光入込客数 1,787,802人 (対前年51%) 令和2年観光消費額 4,865,164千円 (対前年56%)					
コスト	事業に係る経費は			内訳	金額	説明			
				観光推進経費(亀岡市観光協会運営費補助金)	19,733,000	給料手当:13,462,844円、賞与:1,407,966円、賞金1,787,760円、福利厚生費:3,074,428円			
	事業に携わった職員数は			計	19,733,000				
				0.4人 ×@7,109,000=	2,843,600				
					合計	22,576,600			
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は			内訳	金額	説明			
				一般財源のみ					
				計	0				
課題方向性	今後の課題は何か			・ウィズコロナにおける新たな生活様式に対応した、国内外を問わず観光客の誘致拡大に向けた取り組みと、滞在しやすい環境の整備 ・市内に点在する歴史文化、観光資源のネットワーク化による市内各所へ周遊できる仕組みづくり及び通過型観光からの脱却 ・観光協会や森の京都DMOなどとの連携による民間活用					
	今後の方向性はどうか			上記の課題に取り組み、市民も含め、より多くの人々が観光資源等に集い、交流することで持続的、発展的なにぎわいの創出					

※職員の平均人件費を参考数値として示している

令和2年度決算事務事業評価資料(R3.9審査)

別紙No. 4

一般会計				款	商工費	項	商工費	担当課	商工観光課
								目	観光費
対象事業名	観光推進経費(亀岡市観光協会宣伝事業等補助金)						主要施策報告書	177ページ	
目的	事業の目的は何か	市内の観光地や観光イベント等をPRし、本市の魅力を全国に発信することで観光入込客数及び観光消費額を増加させる。							
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金支給 <input type="checkbox"/> その他()							
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	市内の豊かな自然環境や歴史・文化などの観光資源を活用した観光振興事業を展開するとともに、写真コンテストや紅葉ライトアップ等積極的な観光キャンペーン、観光プロモーションを実施し、交流人口を拡大し、賑わいの創出を図った。また、観光案内所窓口において新型コロナウイルス感染症対策を施した。							
成果	目的に対する成果は何か	令和2年観光入込客数 1,787,602人 (対前年51%) 令和2年観光消費額 4,865,164千円 (対前年56%)							
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明					
		観光推進経費(亀岡市観光協会宣伝事業等補助金)	3,314,000	観光宣伝事業:1,493,263円、観光推進事業:1,821,417円、環境整備事業:499,320円					
	計	3,314,000							
	事業に携わった職員数は	0.4人 ×@7,109,000=	2,843,600	※					
				合計	6,157,600				
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明					
		一般財源のみ							
		計	0						
課題方向性	今後の課題は何か	・ウィズコロナにおけるオンラインプロモーションやオンライントラベル等の活用による、新たな生活様式に対応した効果的な情報発信 ・広域連携によるプロモーションのほかファムトリップやパワーブロガーの活用などによる効果的な情報発信 ・Web広告を積極的に活用し、京都亀岡に関心のあるユーザーに対してピンポイントで情報発信							
	今後の方向性はどうか	上記の課題に取り組み、市民も含め、より多くの人々が観光資源等に集い、交流することで持続的、発展的にぎわいの創出							

※職員の平均人件費を参考数値として示している

